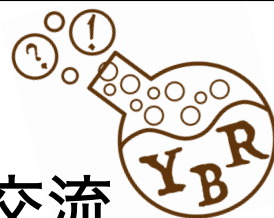




第48回 日本分子生物学会年会
フォーラム



若手生物学者による異分野研究交流

Interdisciplinary Summit for Young Biology Researchers

セッション番号 : 2F-10

日程 : 12/4(2日目)

会場 : 第10会場

パシフィコ横浜

会議センター4F/413

時間 : 19:15-20:30

オーガナイザー

明果瑠-安岡 いるま

(大阪国際がんセンター /
学振特別研究員PD)

青木遼太

(東京大学 / 特任研究員)

概要

本フォーラムは、分野横断的な学術研究に焦点を当てる。具体的には、異分野から着想を得て打ち出された研究について議論し、最新の知見や技術を共有することで、研究分野の更なる発展と新学術領域の創出を目指す。

研究アプローチが多様化する昨今、興味対象や目的が本質的に同じであっても、材料や手法が異なるだけで異分野として隔てられ、閉鎖的な議論を余儀なくされる場合がある。次代を担う若手研究者には、独創的で意義のある研究課題を創出・遂行する能力が必須であり、一元的な知識体系や分野だけでは十分に研究を展開できない可能性がある。

このような諦観的な現状に一石を投じるべく、国内有数の大会規模と研究分野の多様性を誇る日本分子生物学会年会を通じて、学際的な研究課題について横断的に議論し、新学術領域を独創する端緒を開きたい。

19:15-19:20 趣旨説明 明果瑠-安岡 いるま

19:20-19:33 米澤 直央 / 近畿大学 / 博士後期2年
人工核を造ることはできるか？(機能編)

19:33-19:46 築田 健介 / 電気通信大学 / 修士2年
急性Tリンパ芽球性白血病に抑制効果を示す
天然物類縁体の合成

19:46-19:59 大橋 勇太郎 / 東京理科大学 / 修士2年
エピゲノムによる樹状細胞分化の制御

19:59-20:12 長谷川 愛美 / 東京大学 / 学部4年
低pH癌微小環境におけるがん細胞の生存戦略

20:12-20:25 坂野 宏知 / 同志社大学 / 修士1年
NRF3って何者？ 膀胱がん増大のカギを握る
転写因子とアミノ酸飢餓応答

20:25-20:30 総合討論 青木遼太